

平成29年度 全国中学校体育大会
第39回 全国中学校軟式野球大会 出場校紹介

| | | | |
|---|--------------------------|-------------------------|--------|
| 四 国 ブロック 第2位 | ふりがな あなんしりつあなんちゅうがっこう | 学校名 徳島県 阿南市立阿南中学校 | |
| チームの戦力分析 | | | |
| 1 投手について | | | |
| <p>3年生のエース久米が投手陣の軸として試合をつくる。投手として著しく成長し、総体を迎えることができた。持ち前のコントロールを駆使して、相手打者の左右に関係なく打たせて取るピッチングを得意とする。2番手で降も本木、米澤らの安定感のある投球で接戦をものにしてきた。</p> | | | |
| 2 守備について | | | |
| <p>バッテリーを中心に守備の流れをつくり、試合の主導権を握る。ランナーを出しても簡単に得点されないよう、内外野ともに場面に応じた打席の守りを意識している。野手ではキャプテンの宮本を中心として、「取れるアウトを確実に取る」守備を徹底している。</p> | | | |
| 3 攻撃について | | | |
| <p>攻撃においては意識改革を促し、「主軸に回しておけばなんとかしてくれる」という考えを改め、全員が責任をもって「状況に応じた打席」を心がけることで、どの打順からでも得点のきっかけをつくれるように練習してきた。小さなチャンスも確実に得点に結びつける攻撃を展開したい。</p> | | | |
| 4 チームの特徴 | | | |
| <p>能力に頼りがちなチームだったが、考えてプレーすることを部員全員が意識し、ひとりひとりがチームを背負っているという意識をもつことで「チーム力」の底上げを図ってきた。結果、守りにおいても攻撃においてもいろいろな局面で互いにカバーし合うことができるようになってきた。全体的におとなしいチームカラーではあるが、野球が好きな思いはどのチームにも負けないので、目の前の相手、一球に全力で挑む。全国出場の目標の次はさらに大きな目標を達成すべく、全員で挑戦する。</p> | | | |
| 5 全国中学校軟式野球大会出場回数 | | 1 回目 | |
| 6 チーム成績(練習試合を含む) | | 59 勝 38 敗 12 分 | |
| 7 本大会までの軌跡 (大会ごとに対戦相手とスコアを記入してください) | | | |
| 大会 | | | ブロック大会 |
| 阿南市 地区大会 | | | 都道府県大会 |
| 回戦 | スコア | 対戦校 | 回戦 |
| スコア | 対戦校 | スコア | 対戦校 |
| 1 回戦 | 7-0 | 那賀川中 | 1 回戦 |
| 準決勝 | 1x-0 | 羽ノ浦中 | 2 回戦 |
| 決 勝 | 0-3 | 新野・加茂谷・福井中 | 準々決勝 |
| | | | 準決勝 |
| | | | 決 勝 |
| | | | 池田・山城中 |
| | | | 国府中 |
| | | | 鳴門市第一中 |
| | | | 上板中 |
| | | | 鳴門市第二中 |
| | | | 1 回戦 |
| | | | 準決勝 |
| | | | 決 勝 |
| | | | 8-0 |
| | | | 10-1 |
| | | | 2-7 |
| | | | 潮江中 |
| | | | 満濃中 |
| | | | 明德義塾中 |
| 8 学校紹介 (開会式のアナウンスの参考にさせていただきます) | | | |
| <p>徳島の南、阿南市は「野球の町」として県内外から多くの野球団体を招き、野球文化の発展に市を挙げて取り組んでいる。市の中心に位置する本校は生徒数506人の、市内では最大の学校である。山・川・海と周辺は自然に恵まれた環境で、田舎の学校ならではの生徒同士の仲の良さは野球部も例外ではない。朝の陸上練習や清掃ボランティアには多くの生徒が精力的に励んでいる。</p> <p>新校舎の改築工事は完了したもののグラウンドの整備はこれからで野球の環境としては充分とは言えないものの、環境を言い訳にせず、「今できること」に力を注ぎ全員で日々の練習に取り組んでいる。</p> | | | |
| 9 主将の抱負 | | | |
| <p>ようやく目標の全中に出場することができます。本番では、徳島県、そして四国ブロック代表としてのプライドをもち、それにふさわしい闘いをします。日頃お世話になっている方々への感謝の気持ちをもち、目の前の相手に全力で挑み、一つでも上を目指します。自分たちの100%を出し切ります。</p> | | | |